

アブダクション研究会の皆様
顧問の皆様
発表者の皆様

2016・1・1

アブダクション研究会
世話人 福永 征夫

2016年・新年のご挨拶とお知らせ

◇皆様、新年明けましておめでとうございます。
わたくしの年賀状をお届けいたします。

□新年を慶賀しご健勝をお祈りします□

わたくしは1984年に『人間は環境の厳しい変化に柔軟に適應する能力をいかに発展させるか』というテーマを長期テーマとして確定し、6年間の研鑽と蓄積を経て1990年から25年間にわたって主として日本認知科学会と日本シミュレーション&ゲーミング学会で継続的に発表をまいりました。

そして今日までに『有効生産・有効消費・有効廃棄のモデル』『ラティスの構造モデル』『3軸認知場のモデル』『プロセスの知のモデル』という相互に密接に関連する四つのモデルを提出してまいりました。

わたくしが広域学の確立をめざす学術活動とパラレルに進めてきましたアブダクション研究会は創立21年目のスタートを切りますが、これまでの成果を踏まえ「持続可能性を確保する知識と行動」の探究に更なる前進を図ってまいりたいと存じています。

平成28年 元旦

福 永 征 夫

◆アブダクション研究会 (1996年設立)

◆ホームページ：<http://abductionri.jimdo.com/>

〒610-0357 京都府京田辺市山手東1丁目28-4

TEL：0774 (65) 5382 e-mail：jrfd117@ybb.ne.jp

【1】2016年も、われわれがめざす、広域学の確立に向けて、新たな領域の知識の探究のために様々な多様な挑戦を続けてまいりますので、皆様の積極果敢なご参加とご協力

をいただきますようお願いを申し上げます。

また、2016年は、いよいよ、自然の「システム」学に挑戦する「輪読研究」が始まります。「輪読研究テーマ」の発表者の決定が円滑に運びますよう、皆様には、積極果敢なお申し出をいただきますよう、重ねてお願いをいたします。

(1) 第106回アブダクション研究会 (2016・1・30)

テーマ : 輪読研究『「よくわかる生理学の基本としくみ」=當瀬規嗣著・2006 (株) 秀和システム=を輪読研究して、生理学のシステムを考える』

(2) 第107回アブダクション研究会 (2016・3・5)

発表者 : 竹之内 大輔 氏 (企業経営者・シニアコンサルタント)

テーマ : 『N・ルーマンの「社会システム理論」と、J・ハーバーマスの「コミュニケーション行為の理論」を学んで、

自然的本性に由来する、社会のシステム論と、人為的規範に由来する、社会の契約論の相克と調和を考える』 (仮題)

(3) 第108回アブダクション研究会 (2016年5月初旬～中旬)

発表者 : 浅川 伸一 氏 (東京女子大学)

テーマ : 『「D.O.HEBB=ESSAY on MIND」(1980,LEA)をベースに、ヘップが創始して描いた心の像と機序を学び、現代にいたる意義を考える』

(仮題)

(4) 第109回アブダクション研究会 (2016年7月中旬～下旬)

輪読研究の発表者 : 2016年3月に募集して決定する。

テーマ : 輪読研究『「学んでみると生態学はおもしろい」=伊勢武史著・2013ベレ出版=を輪読研究して生態学のシステムを考える』

(5) 第110回アブダクション研究会 (2016年9月中旬～下旬)

発表者 : 伊藤 万利子 氏 (早稲田大学)

テーマ : 『視覚による身体の自己組織化を考える』 (仮題)

(6) 第111回アブダクション研究会 (2016年11月中旬～下旬)

輪読研究の発表者 : 2016年7月に募集して決定する。

テーマ : 輪読研究『「学んでみると気候学はおもしろい」=日下博幸著・2013ベレ版=を輪読研究して気候学のシステムを考える』

【2】2016年7月から「人間のシステム研究分科会」の活動を再開する計画をしています。

アブダクション研究会には、現在、三つの分科会があります。

「21世紀の科学・技術を考える分科会」、および「〈企業文化と経営思想の潮流〉を考える分科会」の両分科会については、お蔭様で、有意義で活発な活動を粘り強く継続しています。

参加者の不足で一時休会中の「人間のシステム研究分科会」については、早稲田大学の伊藤万利子先生に議長代行をお願いして、活動を再開すべく計画をしていますが、次の第106回アブダクション研究会（1/30）で出席者の了承を得た上で、7月から同分科会を開催する予定です。

【3】「持続可能性を確保する広域的で高次の知識と行動を考える分科会」を新設する計画をしています。

次の第106回アブダクション研究会（1/30）で、

「持続可能性を確保する広域的で高次の知識と行動を考える分科会」の設置について、その趣意書を提案し、出席者の了承を得て、できれば2月から、研鑽と探究の分科会活動を開始したいと考えています。

■21世紀に生きるわれわれが直面する、

地球環境問題、資源・エネルギーの枯渇、災害や事故の巨大化、貧富の差の拡大、難病の発生、内外の対立と争いの激化など、地球規模の難題に対して、

われわれが主体的かつ能動的に対処するためには、

人間の営みのパラダイムを自然の系の基本的なルールとよりよく適合するものに転換して行かなければならないものと考えられます。

■1996年に設立されたアブダクション研究会は、

地球規模の難題に真正面から対処するために、人間の営みのパラダイムを転換するべく、知識の広域化と高次化を目指し、

多様な探究を積み重ねて、一步一步進化を続けて、成果を挙げてきています。

■アブダクション研究会のこれまでの探究の成果を生かしながら、

それらの成果を、経済学・工学・生物学・政治学・社会学などの関連する知見と結びつけ

て、

広域的で高次の知識と行動のあるべき姿を探っていくことが重要だと考えられるような新たな段階に入ってきています。

■これは、必ずしも容易ではない困難なテーマに挑戦して行くことになりますが、皆さんの積極的なご参加とご協力をいただきたいと念願しています。

【4】アブダクション研究会は、新会員を募集しています。

皆様のお知り合いやご友人で、入会を希望される方がおられましたら、積極的にご紹介くださるようお願いいたします。

世話人宛にメール（jrfd117@ybb.ne.jp）または電話（080-3515-9184）でご連絡ください。

【5】各分科会は、新メンバーを募集しています。

皆様の積極的なご参加を期待しています。

世話人宛にメールまたは電話でご連絡ください。

【6】アブダクション研究会2017年の計画について

■昨年12月から、アブダクション研究会の2017年の計画について企画策定を進めています。

■アブダクション研究会のこの20年来の蓄積を生かしながら、より広域的でより高次の知識の分野に対して、われわれの理解が行き届くように、テーマを探り、調整をしているところです。

■この旬日のうちに、皆様にお知らせして、確認をいただいた上で、1月中旬には決定をしたいと考えています。

以 上